通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

ログインID　※必須	
パスワード　※必須	

ログイン

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

以下のURLは、サンプルイメージです。そのままコピーできませんので、「一時保存」を押して出てきた個別のURLをコピー＆ペーストしてください。

ご回答いただいたデータを一時保存しました。

ご注意ください

・回答を再開する場合は、下記の再開URLにアクセスしてください。
※再開URLがわからなくなった場合、保存したデータからの再開はできません。
再開URLはメールで送信するかメモ帳などにコピーし、必ずお控えください。
※ログインページがある場合は、ログイン画面からも再開できます。

・回答の一時保存期限を過ぎると、回答内容が消去されます。

再開用URL	https://www14.webcas.net/form/pub/sei37/cood202611?rid=ZJWa1Ru%2F1e79%2FuHeanPBK1c%2BhhZjlPqODqLVYvlyP6E%3D
回答の一時保存期限	2026年11月09日 16時50分

戻る

次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

独立行政法人　国立特別支援教育総合研究所

特別支援教育コーディネーターにご回答いただくにあたってのお願い

日頃より、国立特別支援教育総合研究所の研究活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本書は、コーディネーター票をWebアンケートフォームで回答する方法をまとめたものです。
本調査への参加は任意です。回答しない場合にも、不利益はありません。

記

1　回答をお願いする方

学校からコーディネーター票の回答案内を受けた方にお願いします。回答者の選定方法は、学校長用の【資料2-5】「調査回答者の選定方法について」に示しています。コーディネーター個人の努力や力量を評価する調査ではありません。

2　回答期間・所要時間

回答期間は令和8年10月26日から11月30日までです。所要時間は約30分です。

3　回答前に準備するもの

・コーディネーター票の回答用URL又はQRコード
・封筒の宛名部分に記載された学校コード
・御自身で決める任意の４桁数字

4　回答の手順

(1) コーディネーター票のURLを開くか、QRコードを読み取ります。
(2) 学校コード〔必須〕（封筒の宛名右上部分に記載）を入力します。
学校コードは、調査書類をお送りした封筒の宛名ラベル右上に、「SC」に続けて記載されている半角英数字5文字です（例：S0001、C0001）。入力する際は、「SC」や括弧・コロンを含めず、5文字のコードのみを入力してください。同じ学校で回答する場合は、学校票・コーディネーター票・担任票のいずれも、同じ学校コードを使用します。封筒がお手元にない場合は、校内で調査書類を取りまとめている方にご確認ください。
【例】宛名ラベルの表示（SC：C0001）の場合、入力する学校コード：C0001　となります。
※小学校はSから始まる５文字、中学校はCから始まる５文字となります。
(3) 説明を読み、回答へ協力する場合は「協力し、特別支援教育コーディネーター票に回答する」を選びます。
(4) 質問に回答し、内容を確認して送信します。

5　回答時のお願い
・学校として協力している場合でも、御本人の回答は任意です。
・把握している校内の状況について回答してください。
・分からないことは、推測せず、選択肢に沿って回答してください。
・自由記述以外の項目は、必須回答となっておりますので、回答しないと先に進めません。
・回答中に時間の確保が難しくなった場合や負担を感じた場合は、途中で回答をやめることができます。
・自由記述には、学校名、氏名など、個人や学校が分かる情報を書かないでください。
・学校名と学校コードの対応表は、回答データとは別に保管します。

6　回答後に参加を取りやめる場合
令和8年12月18日（金）までに撤回用Webフォームから申し出てください。該当するコーディネーター票だけを分析対象から除外します。

撤回用Webフォーム：https://forms.cloud.microsoft/r/gFQ9tCsK2s

【お問合せ先】
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育推進センター　総括研究員　横尾　俊（研究副代表者）
〒239-8585　神奈川県横須賀市野比5-1-1
電話　046-839-6866（直通）
電子メール　v-regular_inquiry@nise.go.jp

このアンケートは途中回答保存機能がございます。
以下の再開用URLと記載のある右側のURLをメモ帳にコピー＆ペーストして保管して下さい。
途中回答保存期間は、**1週間**（１６８時間）です。

※下の図はイメージです。

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

コーディネーター票　協力同意

封筒ラベルに記載のある５桁の学校コードを半角英数字５文字で入力してください。　※必須	
本調査に協力し、コーディネーター票に回答しますか。　※必須	◯ 協力し、コーディネーター票に回答する ◯ 協力しない

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

コーディネーター票

任意の４桁の番号を入れて下さい。
※必須

【調査の目的】

本調査は、通常の学級における個に応じた指導・支援の状況を把握し、学校での実践や校内支援体制づくりに役立つ知見として整理することを目的としています。

具体的には、以下の観点に着目して関連を整理します。

① 児童生徒の学びの状態と日常の指導・支援
② 担任の指導・支援と校内での相談・情報共有
③ 学校としての方針・支援体制と、特別支援教育コーディネーターによる相談・調整や担任の受け止め

また、担任、特別支援教育コーディネーター、管理職等の異なる立場から同じ学校の支援の状況を把握するため、学校票・コーディネーター票・担任票の３種類の調査票を用います。１校当たり、学校票１名、コーディネーター票１名、担任票２名の計４名にご回答いただき、学校としての方針や支援体制、校内での相談・調整、日常の指導・支援がどのように関係しているかを検討します。

個々の学校や教員を順位づけたり判定したりするものではありません。回答は研究目的に限って使用し、個人や学校が特定される形で公表しません。

この調査に正解・不正解はありません。自由記述以外の項目は、すべて御回答いただかないと送信できません。回答者ご自身が把握している範囲で、今年度の状況に最も近い回答を選んでください。

特に指定がない限り、通常の学級の担任等から受けた相談、校内での調整、関係教職員との情報共有、外部専門家等との連携の状況についてお答えください。

【回答方法】

各設問に示す選択肢に沿ってご回答ください。

戻る　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

A　回答者について
回答者ご自身の立場と経験についてお答えください。

C-A-01　学校種　※必須

- ◯ 小学校
- ◯ 中学校
- ◯ 義務教育学校
- ◯ その他

C-A-02　所属上の主な職

（ここでいう『主な職』とは、教諭、主幹教諭、教頭等の職名を指します。特別支援教育コーディネーターなどの担当業務を尋ねるものではありません。）
※必須

- ◯ 管理職（校長・副校長・教頭）
- ◯ 主幹教諭・指導教諭
- ◯ 教諭
- ◯ 養護教諭
- ◯ その他

C-A-03　現在の兼務状況（複数回答可）
※必須

- ☐ 学級担任
- ☐ 学年主任
- ☐ 通級担当
- ☐ 特別支援学級担任
- ☐ 分掌主任
- ☐ その他
- ☐ 兼務なし

C-A-04　コーディネーターとしての経験年数（今年度を含めて通算で何年目ですか）　※必須

- ◯ 1年未満
- ◯ 1年以上3年未満
- ◯ 3年以上10年未満
- ◯ 10年以上

C-A-05　コーディネーター以外の特別支援教育に関する担当経験（複数回答可）
※必須

- ☐ 特別支援学校での勤務
- ☐ 特別支援学級の担任・担当
- ☐ 通級による指導の担当
- ☐ その他
- ☐ コーディネーター以外の担当経験なし

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

B　校内での相談・調整・情報共有の状況

今年度、通常の学級の担任（以下「担任」といいます）を支える校内の相談・調整・情報共有の状態についてお答えください。回答は、1「まったくあてはまらない」、2「あまりあてはまらない」、3「どちらともいえない」、4「ある程度あてはまる」、5「よくあてはまる」です。　※必須

	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ある程度あてはまる	よくあてはまる
C-B-01　担任が、児童生徒の支援に関する相談をしやすい体制がある。	○	○	○	○	○
C-B-02　担任からの相談内容を整理し、必要な支援や役割分担の検討につなげている。	○	○	○	○	○
C-B-03　支援方針について、担任や関係する教職員と確認する機会がある。	○	○	○	○	○
C-B-04　必要に応じて、管理職、学年主任、養護教諭、通級担当等との調整を行っている。	○	○	○	○	○

C-B-05　担任が一人で抱え込まないよう、校内で役割分担を確認している。	○	○	○	○	○
C-B-06　外部専門家や関係機関から得た助言を、担任の実践につながる形で共有している。	○	○	○	○	○
C-B-07　通常の学級での支援について、校内で共通理解を図る機会がある。	○	○	○	○	○
C-B-08　支援内容が、授業や学級経営に反映されているかを確認している。	○	○	○	○	○
C-B-09　担任に対して、必要な情報や教材等を紹介している。	○	○	○	○	○
C-B-10　担任と保護者との連携を支えている。	○	○	○	○	○

戻る

次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

C　相談・検討・連携の頻度

今年度、相談・検討・連携を実際に行った頻度についてお答えください。「必要な場面なし」と、「必要な場面はあったが実施していない」を区別してください。　※必須

	必要な場面なし	必要な場面はあったが実施していない	年1～数回程度	月1回程度	月2～3回程度	週1回以上
C-C-01　担任から相談を受ける機会	○	○	○	○	○	○
C-C-02　担任、管理職、関係教職員で支援方針を確認する機会	○	○	○	○	○	○
C-C-03　校内委員会等で通常の学級の支援について検討する機会	○	○	○	○	○	○
C-C-04　外部専門家や関係機関と連携する機会	○	○	○	○	○	○
C-C-05　通常の学級の支援に関する校内研修や情報提供の機会	○	○	○	○	○	○

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

D　コーディネーターとして感じる困難さ

今年度、担任を支える役割を担う中で感じた困難についてお答えください。　※ 必須

	まったく感じない	あまり感じない	どちらともいえない	やや感じる	強く感じる
C-D-01　担任からの相談内容を、校内で共有・調整する時間を確保することが難しい。	○	○	○	○	○
C-D-02　通常の学級での支援方針を、関係する教職員の間でそろえることが難しい。	○	○	○	○	○
C-D-03　担任が困っていることを把握しても、具体的な支援につなげることが難しい。	○	○	○	○	○
C-D-04　管理職や学年主任等と連携することが難しい。	○	○	○	○	○
C-D-05　専門家や関係機関との連携から得た助言や情報を、日常の実践に生かすことが難しい。	○	○	○	○	○
C-D-06　通常の学級で活用しやすい支援情報や教材を用意することが難しい。	○	○	○	○	○

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

E 通常の学級を支えるために必要だと感じること

今年度の経験を踏まえ、通常の学級を支えるために必要だと感じるものをすべて選んでください。「現時点では特にない」は、他の選択肢と同時に選ばないでください。　※ 必須

- [ ] 担任の相談を受ける時間の確保
- [ ] 校内で支援方針を共有する仕組み
- [ ] 管理職や学年主任等との連携
- [ ] 外部専門家や関係機関との連携
- [ ] 通常の学級で使いやすい教材・教具の情報
- [ ] コーディネーター向けの研修や情報提供
- [ ] その他
- [ ] 現時点では特にない

戻る　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

F　自由記述（任意）

C-F-01　担任を支えるうえで、校内体制として必要だと感じることがあれば記入してください。

通常の学級の担任を支えるうえで、校内体制として必要だと感じること

戻る　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

独立行政法人　国立特別支援教育総合研究所

特別支援教育コーディネーターにご回答いただくにあたってのお願い

日頃より、国立特別支援教育総合研究所の研究活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本書は、コーディネーター票をWebアンケートフォームで回答する方法をまとめたものです。
本調査への参加は任意です。回答しない場合にも、不利益はありません。

記

1　回答をお願いする方
学校からコーディネーター票の回答案内を受けた方にお願いします。回答者の選定方法は、学校長用の【資料2-5】「調査回答者の選定方法について」に示しています。コーディネーター個人の努力や力量を評価する調査ではありません。

2　回答期間・所要時間
回答期間は令和8年10月26日から11月30日までです。所要時間は約30分です。

3　回答前に準備するもの
・コーディネーター票の回答用URL又はQRコード
・封筒の宛名部分に記載された学校コード
・御自身で決める任意の４桁数字

4　回答の手順
（1）コーディネーター票のURLを開くか、QRコードを読み取ります。
（2）学校コード〔必須〕（封筒の宛名右上部分に記載）を入力します。
学校コードは、調査書類をお送りした封筒の宛名ラベル右上に、「SC」に続けて記載されている半角英数字5文字です（例：S0001、C0001）。入力する際は、「SC」や括弧・コロンを含めず、5文字のコードのみを入力してください。同じ学校で回答する場合は、学校票・コーディネーター票・担任票のいずれも、同じ学校コードを使用します。封筒がお手元にない場合は、校内で調査書類を取りまとめている方にご確認ください。
【例】宛名ラベルの表示（SC：C0001）の場合、入力する学校コード：C0001　となります。
※小学校はSから始まる５文字、中学校はCから始まる５文字となります。
（3）説明を読み、回答へ協力する場合は「協力し、特別支援教育コーディネーター票に回答する」を選びます。
（4）質問に回答し、内容を確認して送信します。

5　回答時のお願い
・学校として協力している場合でも、御本人の回答は任意です。
・把握している校内の状況について回答してください。
・分からないことは、推測せず、選択肢に沿って回答してください。
・自由記述以外の項目は、必須回答となっておりますので、回答しないと先に進めません。
・回答中に時間の確保が難しくなった場合や負担を感じた場合は、途中で回答をやめることができます。
・自由記述には、学校名、氏名など、個人や学校が分かる情報を書かないでください。
・学校名と学校コードの対応表は、回答データとは別に保管します。

6　回答後に参加を取りやめる場合
令和8年12月18日（金）までに撤回用Webフォームから申し出てください。該当するコーディネーター票だけを分析対象から除外します。

撤回用Webフォーム：https://forms.cloud.microsoft/r/gFQ9tCsK2s

【お問合せ先】
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育推進センター　総括研究員　横尾　俊（研究副代表者）
〒239-8585　神奈川県横賀市野比5-1-1
電話　046-839-6866（直通）
電子メール　v-regular_inquiry@nise.go.jp

このアンケートは途中回答保存機能がございます。
以下の再開用URLと記載のある右側のURLをメモ帳にコピー＆ペーストして保管して下さい。
途中回答保存期間は、**１週間**（１６８時間）です。

※下の図はイメージです。

通常の学級における個に応じた
指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

以下のURLは、サンプルイメージです。そのままコピーできませんので、「一時保存」を押して出てきた個別のURLをコピー＆ペーストしてください。

ご回答いただいたデータを一時保存しました。

ご注意ください

・回答を再開する場合は、下記の再開URLにアクセスしてください。
※再開URLがわからなくなった場合、保存したデータからの再開はできません。
再開URLはメールで送信するかメモ帳などにコピーし、必ずお控えください。
※ログインページがある場合は、ログイン画面からも再開できます。
・回答の一時保存期限を過ぎると、回答内容が消去されます。

再開用URL	https://www14.webcas.net/form/pub/sei37/cood202611?rid=ZJWa1Ru%2F1e79%2FuHeanPBK1c%2BhhZjlPqODqLVYvlyP6E%3D
回答の一時保存期限	**2026年11月09日 16時50分**

戻る

コーディネーター票　協力同意

封筒ラベルに記載のある５桁の学校コードを半角英数字５文字で入力してください。	S0000
本調査に協力し、コーディネーター票に回答しますか。	協力し、コーディネーター票に回答する

コーディネーター票

任意の４桁の番号を入れて下さい。	0008

【調査の目的】

本調査は、通常の学級における個に応じた指導・支援の状況を把握し、学校での実践や校内支援体制づくりに役立つ知見として整理することを目的としています。

具体的には、以下の観点に着目して関連を整理します。

① 児童生徒の学びの状態と日常の指導・支援
② 担任の指導・支援と校内での相談・情報共有
③ 学校としての方針・支援体制と、特別支援教育コーディネーターによる相談・調整や担任の受け止め

また、担任、特別支援教育コーディネーター、管理職等の異なる立場から同じ学校の支援の状況を把握するため、学校票・コーディネーター票・担任票の３種類の調査票を用います。１校当たり、学校票１名、コーディネーター票１名、担任票２名の計４名にご回答いただき、学校としての方針や支援体制、校内での相談・調整、日常の指導・支援がどのように関係しているかを検討します。

個々の学校や教員を順位づけたり判定したりするものではありません。回答は研究目的に限って使用し、個人や学校が特定される形で公表しません。

この調査に正解・不正解はありません。自由記述以外の項目は、すべて御回答いただかないと送信できません。回答者ご自身が把握している範囲で、今年度の状況に最も近い回答を選んでください。

特に指定がない限り、通常の学級の担任等から受けた相談、校内での調整、関係教職員との情報共有、外部専門家等との連携の状況についてお答えください。

【回答方法】

各設問に示す選択肢に沿ってご回答ください。

A　回答者について

回答者ご自身の立場と経験についてお答えください。

C-A-01　学校種	小学校
C-A-02　所属上の主な職 **（ここでいう『主な職』とは、教諭、主幹教諭、 教頭等の職名を指します。特別支援教育コーディネーターなどの担当業務を尋ねるものではありません。）**	管理職（校長・副校長・教頭）
C-A-03　現在の兼務状況（複数回答可）	学級担任
C-A-04　コーディネーターとしての経験年数（今年度を含めて通算で何年目ですか）	1年未満
C-A-05　コーディネーター以外の特別支援教育に関する担当経験（複数回答可）	特別支援学校での勤務

B　校内での相談・調整・情報共有の状況

今年度、通常の学級の担任（以下「担任」といいます）を支える校内の相談・調整・情報共有の状態についてお答えください。回答は、1「まったくあてはまらない」、2「あまりあてはまらない」、3「どちらともいえない」、4「ある程度あてはまる」、5「よくあてはまる」です。

C-B-01　担任が、児童生徒の支援に関する相談をしやすい体制がある。：よくあてはまる
C-B-02　担任からの相談内容を整理し、必要な支援や役割分担の検討につなげている。：よくあてはまる
C-B-03　支援方針について、担任や関係する教職員と確認する機会がある。：よくあてはまる
C-B-04　必要に応じて、管理職、学年主任、養護教諭、通級担当等との調整を行っている。：よくあてはまる
C-B-05　担任が一人で抱え込まないよう、校内で役割分担を確認している。：よくあてはまる
C-B-06　外部専門家や関係機関から得た助言を、担任の実践につながる形で共有している。：よくあてはまる
C-B-07　通常の学級での支援について、校内で共通理解を図る機会がある。：よくあてはまる
C-B-08　支援内容が、授業や学級経営に反映されているかを確認している。：よくあてはまる
C-B-09　担任に対して、必要な情報や教材等を紹介している。：よくあてはまる
C-B-10　担任と保護者との連携を支えている。：よくあてはまる

C　相談・検討・連携の頻度

今年度、相談・検討・連携を実際に行った頻度についてお答えください。「必要な場面なし」と、「必要な場面はあったが実施していない」を区別してください。

C-C-01　担任から相談を受ける機会 : 週1回以上
C-C-02　担任、管理職、関係教職員で支援方針を確認する機会 : 週1回以上
C-C-03　校内委員会等で通常の学級の支援について検討する機会 : 週1回以上
C-C-04　外部専門家や関係機関と連携する機会 : 週1回以上
C-C-05　通常の学級の支援に関する校内研修や情報提供の機会 : 週1回以上

D　コーディネーターとして感じる困難さ

今年度、担任を支える役割を担う中で感じた困難についてお答えください。

C-D-01　担任からの相談内容を、校内で共有・調整する時間を確保することが難しい。 : 強く感じる
C-D-02　通常の学級での支援方針を、関係する教職員の間でそろえることが難しい。 : 強く感じる
C-D-03　担任が困っていることを把握しても、具体的な支援につなげることが難しい。 : 強く感じる
C-D-04　管理職や学年主任等と連携することが難しい。 : 強く感じる
C-D-05　専門家や関係機関との連携から得た助言や情報を、日常の実践に生かすことが難しい。 : 強く感じる
C-D-06　通常の学級で活用しやすい支援情報や教材を用意することが難しい。 : 強く感じる

E 通常の学級を支えるために必要だと感じること

今年度の経験を踏まえ、通常の学級を支えるために必要だと感じるものをすべて選んでください。「現時点では特にない」は、他の選択肢と同時に選ばないでください。

担任の相談を受ける時間の確保,校内で支援方針を共有する仕組み

F　自由記述（任意）

C-F-01　担任を支えるうえで、校内体制として必要だと感じることがあれば記入してください。

test

戻る　　登録

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（特別支援教育コーディネーター）

調査へのご協力、ありがとうございました。
調査結果速報の受け取りを希望される方は、
以下のリンクから「調査結果速報の送付先情報入力フォーム」にお進みいただき、必須事項をご入力ください。

調査結果速報の送付先を登録する
https://forms.cloud.microsoft/r/jVRxmmyUQF

送付先の登録は任意です。登録されない場合も、調査への回答は完了しています。
ご登録いただいたメールアドレスは、調査結果速報の送付後、直ちに削除・廃棄する予定です。